

# 日蓮聖人門連だより

発行  
日蓮聖人門連連合会  
〒146-8544  
東京都大田区池上1-32-15  
電話 (03) 3751-7181

平成19年3月21日  
第35号



法華宗真門流 学林長 辻本寛孝

## 『立正安国論』奏進750年 現代における教化活動とは

### 第4回 法華宗真門流

# 如世尊勅当具奉行!! 使命を達成しよう!!

#### 一、末法の時

釈迦佛の「時」の概念は「正法・像法・末法」の三時である。佛滅後を三つの時代に分け、佛法の弘通の状況を述べるもので、経典にこの説が説かれているのは、未来の「時」即ち現代を踏まえての佛の予言である。

正像二千年の後「末法の時」は万年である。日蓮聖人生誕、貞応元年(一一二二)は佛滅後二一五一年に当たる。生誕の年すでに末法の時「五箇の五百年」からいえば「闍諍堅固の時」に当たり、形式的佛法も衰微し、人の心も乱れ争いが絶えず、佛法の代わりに邪法が起る「白法隠没の時」をいう。第五の五百年が末法に入った始めの五百年である。聖人は釈迦佛が一代五十年の説法の内、釈迦佛晩年の八年間に説かれた「法華経」を「皆是真実」の教として、実践信仰された。我々末法の衆生は、この経を佛の金言として「如世尊勅当具奉行」し、法華経をもって示教利喜しなければならぬのが末法の時である。

#### 二、時代苦の救済

聖人は、衆生の苦悩の因はどこにあるか、衆生の憂悲を除く方法がないかと考え、そして立教開宗後法華経を流布せんが為

に伝導された。最初に「時代苦」という壁がぶつかり、一切経にその方法があると確信され、一切経閲読の結果「正法違背」という宗教的解答を見い出された。聖人は国家、社会、国土、衆生の平和、幸福、平等の為『立正安国論』を幕府に上申されたのである。

「旅客来りて嘆いて曰く、近年より近日に至るまで(中略)死を招くの輩、既に大半を超え、之を悲しまざるの族、敢て一人もなし」(昭定二〇九頁)。

この『立正安国論』は、聖人がまのあたりにした、時代の苦を同一の苦として共苦し、この時代に生まれ合わせた苦悩と、何故に悲惨なめに合うのかという怒りをこめて、北条時頼に建白されたのである。その『立正安国論』の言われる所は、「世皆正に背き、人悉く悪に帰す。故に善神国を捨てて相去り、聖人所を辞して還らず。是をもつて魔来り鬼来り、災い起り、難起る」と。ではどう対処し救済方法は、「汝早く信仰の寸心を改めて、速かに実乗の一善に帰せよ、然れば則ち三界は皆佛国なり、佛国其れ衰えんや。国に衰微なく土に破壊なくんば、身は是れ安全にして、心は是れ禅定ならん。此の詞、此の言信ず可く崇む可し」(昭定二二六頁)佛は、迹門に「現世安穩後生善処」本門に「我此土安穩(中略)衆生所遊樂」と示され平

和、幸福、平等を誓願し、聖人の衆生救済の願で、時代苦の目的である。

#### 三、衆生謗法の戒め

「誹謗の科至つて重く、毀法の罪誠に深し」と『立正安国論』に示すが如く、当時の衆生も、現代の七五〇年後の民衆も心性は変りがない。法華経は有難度いお経だと、その価値を認めながら爾前の念佛、禪、真言或いは律等に執着し、又新興宗教等に惑わされる人が多い。現代は、信仰の自由という法律に守られ、情報過多の時代で(新聞、テレビ、パソコン)あり、正法とは何かという疑念も起さず、世間の法に深く染り、三毒煩惱のまま行動に走るからではないかと思う。

法華経は最勝王経で、「法華最第一」(法師品)「一切諸経法中第一」(薬王品)とあり、世間の法に染まる事なく、如説修行に精進すべきである。故に純一無雜の信でなくてはならない。

法華経を信受しないのは、正法を誹謗するという謗法罪を犯している。なぜなら娑婆世界の教主釈尊が法華経以前の教経を未顕真実(無量義経)とされ、唯一絶対たる法華経を開顕されたから、爾前の教経に心を寄せるは、久遠の釈迦佛の言に従わぬ行為であり、法華経を毀法しているに他ならない。「此の経を毀謗せば則ち一切世間の佛種を断ぜん」(譬喩品)と成佛の道が閉ざされると強い言で戒めておられる。慎しむべきは是なり。

法華信奉者は、高祖聖人を始め先師先聖が今日まで御苦勞され伝えて下さった、法華経を八百年の未来に伝える使命がある。

#### 四、本果実証の題目(唯寿量)

「寿量品にいわゆる。然我実成佛已來の一句に本果実証の一念三千を具す。これ則ち佛界所具の一念三千にして十方法界のあらゆる人畜草木みな悉く釈尊体内所具の十界なり。故に我等即佛界所具の人間界なり。然れば則ち本果実証の妙法を唱え奉る者は、それその身即佛身なり」(真門綱要記 六頁)

「寿量品にいわゆる。然我実成佛已來の一句に本果実証の一念三千を具す。これ則ち佛界所具の一念三千にして十方法界のあらゆる人畜草木みな悉く釈尊体内所具の十界なり。故に我等即佛界所具の人間界なり。然れば則ち本果実証の妙法を唱え奉る者は、それその身即佛身なり」(真門綱要記 六頁)

「高祖開祖の御心にかえろう」合掌しあう友をつくらう」を標語に合掌運動を展開している。例えば、池に石を投げ入れると「波紋」が四方八方に広がる如く、開祖日真和尚の本果実証の題目唱題に励み、使命達成に邁進するのが、我々の今時果たすべき道で、個々に与えられた使命を遂行するのが大切である。佛の弟子であると共に菩薩の一員であつて、本佛の一面の化身である事を能く自覚し、四法を成就(勸発品)して法華経の広宣流布、令法久住の使命達成に精進するのが教化活動につながる道である。

「高祖開祖の御心にかえろう」合掌しあう友をつくらう」を標語に合掌運動を展開している。例えば、池に石を投げ入れると「波紋」が四方八方に広がる如く、開祖日真和尚の本果実証の題目唱題に励み、使命達成に邁進するのが、我々の今時果たすべき道で、個々に与えられた使命を遂行するのが大切である。佛の弟子であると共に菩薩の一員であつて、本佛の一面の化身である事を能く自覚し、四法を成就(勸発品)して法華経の広宣流布、令法久住の使命達成に精進するのが教化活動につながる道である。

#### 從地ゆじゆつ

現在、世間を騒がせている少年犯罪。その中でも特に目立つ殺傷事件。「キレル」事から取り返しのつかない行動をしてしまう。その言葉がマスコミで取り上げられてから、子供による残酷な事件が目立って仕方ない。子供というのは非常に素直な心を持ち、人と同じ事をしてみたいという欲望も強い。そんな中、お手本となるべき大人達が平気で罪を犯す。そういったマスコミの報道を毎日のように聞いていく中で、何事も吸収していく子供達にどういう結果をもたらすか想像がつくであろう。もう一つ言える事は、子供達の間で流行っているTVゲーム。非常にリアルな映像の中で、普通に敵を殺し、自分がやられた場合リセットを押す事で生き返る。つまり命のやり直しがきくのである。人間には錯覚という知覚があるが、成長段階である子供達の知覚の中には確実に人は死んでも生き返るというありえない錯覚が知らないうちに埋め込まれているように思えて仕方ない。日蓮聖人が示された末法の時代。人心が乱れ、仏の教えが正しく伝わらない困惑の時代。まさに今、その真つ只中なのである。日蓮聖人の御教えを受け継いだ我々僧侶はじめ檀信徒が、それを後世に正しく伝えて行く事で、子供達は命の尊さというものに初めて気付くのではないかと。祖願達成の決意を新たにしたい。(祐)

《リレー提言③》門連の歩みと次代への発信

一層の結束と努力で進展を目指す

本門法華宗 門連常任理事 山下通雄

平成二十一年に五十周年を迎える

日蓮聖人門下連合会が結成されて明後年で五十周年を迎えます。この度門連だより第三十五号を刊行されるに当たり「門連の歩みと次代への発信」と題して所感の一端を申し述べます。門連発足より大変なご苦心の中、各派をまとめられ門連による様々な事業が行われましたが、日蓮聖人門下連合会を立派に結束発展せしめられました先輩諸師に深く敬意を表し感謝申し上げます。

今日的視野に立つ

この機に乗じ、次のやがて迎える立正安国論奏進、国諫七百年への企画、聖祖降誕八百年に向けて次代門連でなければやれない発想を、先の常任理事会又昨年の京都理事会において大日蓮展の決算報告の時、次の浄行事業に充てる準備予算を組まれました。新しい活動を始めるべく進展するため、特に今日的課題現代の視野に立った全門連各派各聖の素晴らしい発想の提起されることをご期待するものであります。

発足の志を受け継ぎ

会・大橋邦正先生が尽力、東京国立博物館の協力を得られ、門下各派格護のご宝物、聖人のゆかりの品、法華経信仰の美術品など格調の高いものを展覧し、大日蓮展を企画開催、この大きな浄業報恩慶讃記念事業を本化門下僧俗一体となつて理事長はじめ事務局諸師各派理事の結束を固め檀信徒にも大なる信行を勧め、仏縁をもたらし円成せしめられたことは周知の通りであります。

日蓮聖人のお題目を伝弘し立教開宗七百五十年の時にも全門連では誓願の誠を示さんがために記念事業を計画推進し、国柱

異体同心の結束力

日蓮劇、青年の船等、大きな成果をあげられ往時のご活躍を認識いたしております。

全門連加盟宗団として教学上の違い各派団体の主張がありましようが、日蓮聖人の御心と異

益々の全門連各派他諸師の叡智を結集される事を信じます。

新刊紹介

『法華宗教学綱要』発刊される

本書は、著者である元法華宗興隆学林長株橋日涌上人が講義用として書かれ、長年使用されてきた『本門法華宗綱要』（騰写版）に生前、補筆訂正をされていたものを上人の二十三回忌にあたり、このたび刊行されました。本書の内容は、宗名・血脈相承・教判・教意・宗旨・信行の七章で構成、詳細な項目をたててまとめられているほか、更には索引まで付されています。本書は、天台法華教学との対比峻別に特色があり、日蓮門下においても類例のない書として、習学者の便利がはかられたコンパクトな日蓮教学の概説書です。



株橋日涌「法華宗教学綱要」A5上製・函入・三〇九頁・三、九九〇円（税込）発売元・東方出版 大阪市天王寺区大道一の八の一五 電話〇六（六七七九）九五七―FAX〇六（六七七九）九五七三

《著者略歴》

株橋日涌（かぶはし にちゆう）明治四十二年（一九〇九）十一月二十日福井県大野町（現大野市）に生まれる。昭和三年、本門法華宗学林卒業。以来、学林助教・教授・学監、更に法華宗興隆学林長・法華宗教学研究所長を歴任。昭和十六年より同二十年にかけて軍国主義化の特高・司法当局の弾圧を受けたるも、宗祖日蓮聖人の本尊・遺文を死守。法華宗大隆寺第二十四世、大本山本興寺第百二十六世。大僧正。昭和五十九年（一九八四）一月七日遷化。

著書『本門法華宗綱要草案』『法華宗名目』『法華宗義要綱』『開目抄十講』『観心本尊抄講義』上下巻他、論文等多数。

一枚の切符から 国内・海外 団体参拝旅行まで



カタチにします。ときめき・キラメキ・おもてなし www.knt.co.jp

本社 営業推進室(宗教) 〒101-8641 東京都千代田区神田松永町19-2 東京近鉄ビル7F TEL 03-3255-7299 FAX 03-3255-2719



平成二十一年七月十六日は  
『立正安国論』奏進七五〇年  
を迎えます



(平成十九年三月現在)

### 日蓮宗宗務院

管長	酒井 日慈	財務部長	駒野 教源
宗務総長	小松 浄慎	宗務総長室長	長 亮行
伝道局長	伊東 隆司	現代宗教研究所長	田澤 元泰
総務局長	張田 珠潮	参 与	堀江 宏正
伝道部長	梶山 寛潮	参 与	浅井 玄裕
教務部長	渡辺 照敏	日蓮宗新聞社社長	伊東 正光
総務部長	藤岡 映邦		

〒146-8544 東京都大田区池上一-三二-一五  
電話 〇三(三七五二)七七八一  
FAX 〇三(三七五二)七七八六

### 法華宗(本門流)宗務院

管長	岡本 日亘
宗務総長	原井 慈鳳
教学部長	桃井 晋城
教化部長	杉村 眞宏
庶務部長	矢吹 慈英
財務部長	加藤 信淨

〒103-0013 東京都中央区日本橋人形町二一九-一  
電話 〇三(五六一四)三〇五五代  
FAX 〇三(五六一四)三〇五六

### 頭本法華宗宗務院

管長	中山 日曉
宗務総長	藤崎 広学
宗務次長	島田 幸晴
財務部長	藤崎 行学
布教部長	早川 正学
社会部長	阿曾 久成
教務部長	古瀬 久馨
庶務部長	津村 乘信

〒606-0015 京都府京都市左京区岩倉幡枝町九一  
電話 〇七五(七九二)七一一一  
FAX 〇七五(七九二)七二六七

### 法華宗(陣門流)宗務院

管長	椿澤 日壽
宗務総長	土屋 善敬
総務部長	佐古 弘文
教学部長	田邊 円祥
教化部長	佐古 大弦
財務部長	牧野 秀成
宗務参事	金原 孝宜

〒170-0002 東京都豊島区巢鴨五-三五-一六  
電話 〇三(三九一八)七二九〇  
FAX 〇三(三五七六)〇二二一

### 本門佛立宗宗務本庁

講 有	小山 日誠
講 尊	梶本 日裔
講 尊	野崎 日丞
宗務総長	佐藤 日鳳
宗務副総長	梅田 日芳
宗務副総長	嶋田 幾雄

〒602-8377 京都市上京区御前通一条上る東堅町一〇番地  
電話 〇七五(四六一)一一六六代  
FAX 〇七五(四六四)五五九九

### 日蓮本宗宗務院

管長	嘉儀 日有
宗務総長	桐生 信行
宗務部長	岩崎 広義
総務部長	岩崎 広義
財務部長	渡邊 光顕
教務部長	西尾 弘道

〒606-8362 京都市左京区新高倉通孫橋上ル法皇町四四八  
電話 〇七五(七七二)三三九〇  
FAX 〇七五(七七二)五九一四

### 法華宗(真門流)宗務院

管長	田中 日生
宗務総長	竹内 正道
宗務部長	上田 浩岳
総務部長	蓑輪 溪玉
教学部長	木村 完祥
教化部長	堀村 智泰
財務部長	井上 隆啓
社会部長	足立 真正
主 事	山口 英泰

〒602-8447 京都市上京区智恵光院通り五上ル紋屋町三〇  
電話 〇七五(四四一)五七六二  
FAX 〇七五(四四一)五六六六

### 本門法華宗宗務院

管長	高邊 日援
宗務総長	信隆 日雄
宗務部長	増田 隆彦
総務部長	吉村 信彦
財務部長	土畑 信教
教務部長	音羽 隆全
庶務部長	真鍋 弘喜
門連常任理事	山田 雄

〒602-8418 京都市上京区寺之内大通大宮東入妙蓮寺前町八七五  
妙蓮寺内  
電話 〇七五(四五二)三五二七  
FAX 〇七五(四五二)三五九七

### 宗教法人 国柱会

賽主	田中 壮谷
理事長	安中 又六
門連常任理事	本間 直暉
(門連だより)編集委員	森山 真治

〒132-0024 東京都江戸川区一之江六一一九-一八  
電話 〇三(三六五六)七二二一  
FAX 〇三(三六五六)九九八〇  
<http://www.kokuchukai.or.jp>

### 京都日蓮聖人門下連合会

会 長	永田 日洵
副 会 長	上川 日乾
理 事 長	杉若 惠隆
副 理 事 長	本田 信正

京門連事務局  
〒606-8376 京都市左京区二条通川端東大菊町九六  
頂妙寺布教会館内日蓮宗京都府第一宗務所内  
電話 〇七五(七六二)二四一一  
FAX 〇七五(七五二)九三三八

### 日本山妙法寺大僧伽

首 座	塙 行幸
長 老	石山 定光
長 老	吉田 行典
長 老	酒井 天信
長 老	今井 行康
長 老	二宮 和嘉
長 老	池田 行朗

日本山妙法寺大僧伽事務局  
〒206-0812 東京都稲城市矢野口三五七-一番地  
電話 〇四二(三七八)三三九五  
FAX 〇四二(三七九)〇七四四

平成三十三年二月十六日は  
宗祖御降誕八百年を  
迎えます



(平成十九年三月現在)

日蓮宗総本山 身延山久遠寺

法主 内野 日総  
総務 井上 瑞雄

〒409 2593 山梨県南巨摩郡身延町身延  
電話 〇五五六六(二)一〇一一  
FAX 〇五五六六(二)一〇九四

日蓮宗大本山 池上本門寺

貴首 酒井 日慈  
執事 長 早水 日秀  
役員 一同

〒146 8576 東京都大田区池上一一一一  
電話 〇三(三七五二)二二三一  
FAX 〇三(三七五二)三三五〇

顕本法華宗総本山 妙満寺

貴首 中山 日暁  
執事 島田 幸晴  
執事 山本 晃道  
執事 中村 英司  
執事 湯原 正純  
執事 小川 正義

〒606 0015 京都府京都市左京区岩倉幡枝町九一  
電話 〇七五(七九二)七二七一  
FAX 〇七五(七九二)七二六七

法華宗(陣門流)総本山 本成寺

貴首 榑澤 日壽  
執事 栗田 孝之  
執事 鈴木 原 正  
執事 荒川 公 孝  
執事 近藤 正 文  
執事 五十嵐 義 昭

〒955 0845 新潟県三条市西本成寺一―一―二〇  
電話 〇二五六(三三二)〇〇〇八

法華宗(真門流)総本山 本隆寺

貴主 田中 日生  
執事 長 本多 信正  
執事 足立 真正  
執事 永岡 悠正  
書記 笹木 研吾

〒602 8447 京都市上京区智恵院通り五辻上ル紋屋町  
電話 〇七五(四四一)五七六二  
FAX 〇七五(四四一)五六六六

本門法華宗大本山 妙蓮寺

貴首 高邊 日援  
執事 長 石崎 光教  
役員 一同

〒602 8418 京都市上京区寺ノ内通大宮東入妙蓮寺前町八七五  
電話 〇七五(四五二)三五二七  
FAX 〇七五(四五二)三五九七

多寶富士山 本山要法寺

貴首 嘉儀 日有  
執事 長 丹治 日遠  
執事 岩桐 生 行  
執事 渡邊 廣 義  
執事 西尾 弘 道

〒606 8362 京都市左京区新高倉通孫橋上ル法皇町四四八  
電話 〇七五(七七二)三三九〇  
FAX 〇七五(七七二)五九一四

本門佛立宗本山 宥清寺

住持 二十四世 講有 小山 日誠  
執事 長 田中 清希  
執事 伊藤 隆之  
事務局 長 伊藤 隆之

〒602 8336 京都市上京区一条通七本松西入滝ヶ原町一〇五―一  
電話 〇七五(四六三)四六二〇代  
FAX 〇七五(四六三)四六五一

日蓮聖人出家得度の霊跡 清澄寺

別当 岡崎 日泰  
執事 長 佐々木 光道

〒299 5505 千葉県鴨川市清澄三二二―一  
電話 〇四(七〇九四)〇五二五  
FAX 〇四(七〇九四)〇五二七  
団参には是非、研修会館をご利用ください。  
一六〇名様まで可。

京都八本山会

大本山 本願寺 貴首 吉田 宏遠  
大本山 妙顕寺 貴首 南條 孝仁  
大本山 頂妙寺 貴首 永田 惠遠  
大本山 妙覚寺 貴首 頂岳 龍乘  
大本山 本満寺 貴首 伊丹 榮彰  
大本山 本法寺 貴首 大塚 泰詮  
本山 立本寺 貴首 上田 尚正  
本山 妙傳寺 貴首 野々垣 泰典

日蓮宗霊跡本山 比企谷 妙本寺

貴首 加藤 日暉  
執事 長 大埜 稔申  
執事 立野 正泰  
山務役員一同

〒248 0007 鎌倉市大町一―一五―一  
電話 〇四六七(二二二)〇七七七  
FAX 〇四六七(二二二)六九六七

日興上人御廟所 日蓮宗大本山 富士山重須本門寺

貴首 本間 日諄  
参 与 井出 教道  
参 与 井野上 正文  
参 与 藤先 博明

〒418 0112 静岡県富士宮市北山四九六五  
電話 〇五四四(五八)一〇〇四  
FAX 〇五四四(五九)〇三〇三

日蓮宗大本山 法華経寺

貴首 新井 日湛  
執事 長 藤井 智光  
財務執事 村尾 貞榮  
庶務執事 滝本 善孝  
法務執事 阿部 宇善  
教務執事 高谷 正之

〒272 0813 千葉県市川市中山二一〇―一  
電話 〇四七(三三四)三三三三  
FAX 〇四七(三三四)一七九六

やくよけ祖師 日蓮宗本山 堀之内妙法寺

山主 嶋田 日新

〒166 0013 東京都杉並区堀之内三一四八―八  
電話 〇三(三三三)六二四一  
FAX 〇三(三三三)五〇〇七

日蓮宗本山 頂妙寺

貴首 永田 惠遠  
参 与 山田 信行  
同 伊藤 隆司  
同 藤井 照源  
執事 長 藤井 照源  
執事 川合 陽雄

〒606 8376 京都市左京区仁王門通川端東入大菊町九六  
電話 〇七五(七七二)〇五六二  
FAX 〇七五(七五二)一〇〇四

日蓮門下お題目初唱之霊場 日蓮宗東身延本山 藻原寺

貴首 持田 日勇  
執事 長 増田 寶泉  
執事 富永 一 道  
役員 一同

〒297 0026 千葉県茂原市茂原一二〇―一  
電話 〇四七五(二二二)三二五三  
FAX 〇四七五(二二二)一一七三

法華宗(本門流)大本山 光長寺

貴首 大橋 日紹  
執事 長 久保 木学洋  
役員 一同

〒410 0011 静岡県沼津市岡宮一〇五五  
電話 〇五五(九二二)〇四八四  
FAX 〇五五(九二二)〇七三六

宗祖御降誕霊場 日蓮宗大本山 誕生寺

宗祖御降誕八百年に向かつての祈り

貴首 石川 日命

〒299 5501 千葉県鴨川市小湊一八三  
電話 〇四(七〇九五)二六二一

徳川家康公報恩創建 日蓮宗由緒寺院 瑞輪寺

貴首 井上 日修

〒110 0001 東京都台東区谷中四―二―一五  
電話 〇三(三八二)四三七三  
FAX 〇三(三八二)七〇三三

# 門連時報

## 全門連京都理事会・懇親会、 顕本法華宗総本山妙満寺で開催

平成十八年十一月十七日（金）、顕本法華宗総本山妙満寺（中山日暁貫首）に於いて「全門連京都理事会・懇親会」が開催され、各本山貫首をはじめ門連役員あわせて約四十名が参加した。

正午に集合し、昼食後、午後一時より中山日暁貫首御導師のもと法味を言上。本堂前にて記念撮影の後、午後二時より客殿にて中山日暁貫首による「妙満寺の沿革」、について大変貴重なお話を拝聴した。

引き続き、午後三時より「京都理事会」が開催された。参加者各自の自己紹介の後、小松浄慎全門連理事長が座長となり、議題に沿って議事を進行。全門連上半期事業報告、京都門下連合会の活動報告、大阪門下懇話会の行事並びに活動報告がなされた。その他にも「御降誕八〇〇年慶讃事業」に向けての活発な議論が展開された。また、事務局より平成二十一年に「立正安国論奏進七五〇年」を記念して京都国立博物館において、「大日蓮展（仮称）」を開催してはどうかとの提案があり、京門連の方々より種々意見が述べられ、今後は更に慎重に京門連と連絡を密にしながらか進めて行くこととなった。

会議終了後、懇親会の席を宝ヶ池プリンスホテルへと移し、京料理を満喫した。



京都理事会

## 阪神淡路大震災十三回忌大法要

今回種々お世話いただきました京門連の各聖、妙満寺の皆様には厚く御礼を申し上げると共に、今後とも門下発展の爲にも御尽力賜り度く重ねてお願い申し上げます。

一月十七日午前零時、神戸市東遊園地で管内僧侶が慰霊塔「1・17希望の灯り」周辺で読経を開始。午前四時四十五分からは管内僧侶に加え、全国日蓮宗青年会と日蓮宗女性教師の会も合流し、読経・追悼式に参列、犠牲者へ祈りを捧げた。

午前八時半、東遊園地に全日青を中心とした青年僧約八十人の行脚隊が集合し、二つのコースに分かれ出発。小雨の中、若い僧侶たちの力強いお題目の声とうちわ太鼓の音が神戸の街中に轟いた。また日蓮宗女性教師の会の十五人は、午前九時から約二時間半かけて長田地区で精力的に行脚を行った。行脚と同時に午前九時からは東遊園地、三宮駅間で布教師会・社会教化事業協会による街頭布教とチラシ配布を行うなど、伝道大会に向け意識を結集していった。

十二時半、池田博英実行副委員長（尼崎市長遠寺住職）による開式宣言の後、「1・17希望の灯り」から採火された灯りを清水所長が御宝前へ献火。清水所長が「今こそ法華経の精神を広く世界に伝える時」と挨拶し、小松浄慎宗務総長を導師に阪神大震災十三回忌大法要が営まれた。厳粛な雰囲気の中、読経が響き渡り、清水所長が表白文を読み上げ、被災者へ一意専心の祈りを捧げ、僧侶檀信徒共に「立正安国・お題目結縁運

動」に精励し、法華経とお題目の心を伝え世界平和を実現することを誓った。続いて修法師十八人による大衆法楽が行われた。唱題後、小松宗務総長が回向文を読み上げると、会場は祈りの心に包まれていた。

法要終了後には宗門を代表して張田珠潮日蓮宗宗務院総務局長が挨拶し、災害復興への尽力に感謝し、被災者の方々が安心して生活を取り戻すことが出来るよう祈念。また環境破壊が自然災害を加速させることに触れ「今こそ『生命あり地球の尊厳』を再確認し、生命の尊厳、人心の安寧、世界の平和のために邁進するとき。私たち生きとし生けるものは自然より様々な恩恵を受けていることを認識し、恩に報いるべき」と述べ、被災者の霊位に追善の誠を捧



震災法要

年	月	日	氏名	宗派	門連役職	就任	退任
平成一八	九	一	井上健一氏	国柱会	理事	就任	退任
平成一九	一	一	本間直暉氏	京都門下連合会	常任理事	就任	退任
平成一九	一	一	中山日暁師	京都門下連合会	顧問	就任	退任
平成一九	一	一	永田日洵師	京都門下連合会	顧問	就任	退任
平成一九	一	一	大川定信師	京都門下連合会	常任理事	就任	退任
平成一九	一	一	杉若惠隆師	京都門下連合会	常任理事	就任	退任
平成一九	一	一	杉若惠隆師	京都門下連合会	理事	就任	退任
平成一九	一	一	本多信正師	京都門下連合会	理事	就任	退任
平成一九	三	九	上川日乾師	法華宗真門流	顧問	就任	退任
平成一九	三	九	田中日生師	法華宗真門流	顧問	就任	退任

▼人事（事務局への連絡日を含む）

毎月3回お届けします。信仰・ふれあい・笑顔...

宗門唯一の  
伝道紙

# 日蓮宗新聞

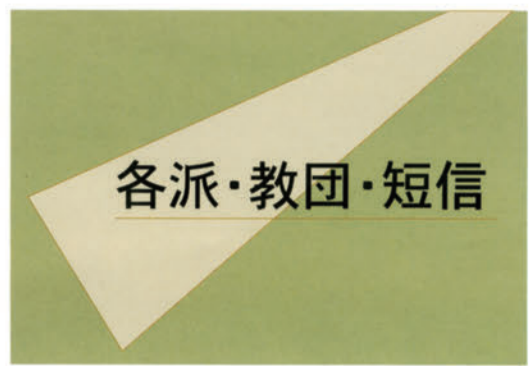
毎月1日・10日・20日  
年間購読 3,600円(送料込)

# 教誌 正法

年4回発行 年間購読 1,700円(送料込)  
一冊350円(送料別)

お正月(1月号) 春季彼岸(3月号) お盆(7月号) お彼岸・お会式(9月号)

お申込みは 日蓮宗新聞社まで 〒146-0082 東京都大田区池上7-23-3 電話03-3755-5271 FAX03-3753-7028



日蓮宗

◆日蓮宗・千葉県南部宗務所・宗門史蹟両親園妙蓮寺の共催で日蓮聖人のご尊儀、妙日尊儀第七百五十遠忌報恩法要を平成十九年五月十三日・十四日の両日、千葉県鴨川市の両親園妙蓮寺と大本山誕生寺で営む。

る。日蓮宗総合企画部長、宗務副総長など数々の要職を得て平成十五年に日蓮宗宗務総長に就任し、門下連合会理事長を務め、平成十七年末に総長を退任した。(大澤宏明)

法華宗本門流

◆平成十九年二月二十日、サンシビック尼崎において、第二十回法華宗教学研究発表大会が開催された。本年度は二十回目の記念大会として、例年の宗門内教師諸師の研究発表に加えて、「海外布教について考える」というテーマで、ネパール出身の学林卒業生と同夫人、及び現在米国で布教に活躍している開教師二人による異なる文化の中での日頃の布教活動などについて発表講演された。

◆布教機関誌「無上道」が昭和二十四年一月創刊以来毎月連綿と続刊を重ね、この度本年四月号をもって七〇〇号を迎える。本記念号は、読者からの公募による「私と無上道」という題の作文、宗務総長と長谷川正浩弁護士との対談、内局長対談、信仰体験など掲載予定。

◆三月十四日、宗門の僧侶養成機関である「興隆学林専門学校」(尼崎・大本山本興寺内)の平成十八年度卒業式が行われた。卒業生は今まで勉強したことを糧にして、新たな布教の第一線にたつ。(三浦賢秀)

顕本法華宗

◆平成十八年八月二十五日・九月八日の十五日間、京都総本山妙満寺において「妙塔学林」が開講された。受講生は行学二道の修練に励んだ。

部僧員研修会」開催。同じく十六日、千葉浜野本行寺で「東部僧員研修会」が開催された。

本門法華宗

◆平成十八年十月十二日・十三日、大本山妙蓮寺(高遠日援貫首)で、日蓮大菩薩御会式報恩法要を奉修。並びに日慶・日応・日忠聖人の三師会法要、本山歴代人の年忌法要が併修された。

◆十月十一日・十二日、大本山妙蓮寺御開山日像菩薩報恩法要を奉修。並びに日慶・日応・日忠聖人の三師会法要、本山歴代人の年忌法要が併修された。

◆十月十二日・十三日の二日間、総本山本隆寺に於いて「秋の大会」が奉修された。十二日夜には、「高祖日蓮大菩薩御建夜法会」が勤められた。境内にて御報恩献灯がなされ、境内には屋台の設置などもあって、多くの参詣者が集まった。また、法要に引き続き、厳肅な雰囲気の中、所定の課程を終えた学林本科生四名が、高座に上って初転法輪(新説式)を挙行了した。

◆十二月五日・六日の二日間「平成十八年度定期宗会」が開催され、平成十九年度歳入歳出予算案、布教師の選任、権大僧正の推薦など、諸案件について審議された。

国柱会

◆平成十八年六月十日・十一日、「宮澤賢治透き通る風の旅」開催。初日は、宮澤賢治記念館見学、身照寺訪問、その後大沢温泉・山水閣にて講習会及び宿泊。最終日は、高村光太郎記念館見学、宮澤家にて追善法要、イギリス海岸散策、羅須地人協会建物見学を実施。十八日、日蓮主義研究会(本部講堂)。テーマは、「一念三千説について」。二十一日、昭和聖徳記念財団評議員会(井上事務局長、賽主代理として出席)。二十四日、講師補任用試験実施。

日本山妙法寺

◆平成十八年七月三十一日・八月八日、広島長崎デーに向けた諸宗教合同平和祈念行脚。米国ワシントン州タコマ・シアトル・バンガ原潜基地。

◆九月十四日・十九日、英国スコットランド平和行進。フアズレーン「トライデント原潜基地」・エジンバラ「スコットランド議会」。

◆十一月五日、恩師行勝院日達聖人御真骨遷座式法要(阿蘇道場御廟所)。

◆八月六日、今年で二回目となる「申孝園夏祭り」開催。昨年よりも多くの地域住民の参加で盛り上がった。九日・十一日、第五十三回少年少女夏期学校開校。十三日、小樽靈廟創立七十周年記念法要厳修(北海道地方連合会主催)。二十日、日蓮主義研究会。テーマは「仏になるということ」。二十六日、田中香浦先生第十一回忌追善法要厳修。同日・二十七日、全国青年の集い開催(於本部)。

お願い

「門連だより」の継続発展のため各派のご協力を切にお願いいたします。本誌に対する感想要望など、ぜひお寄せ下さい。

日蓮聖人門下連合会

●目的  
本会は日蓮聖人の理想を実現するため、祖廟を中心として門下各派及び教団並びに地方門下連合会の連絡、協力、團結を強化することを目的とする。

- 事業  
本会は前条の目的を達成するため、左の事業を行う。  
1、祖廟護持の組織強化  
2、教育事業の提携  
3、布教の連合強化  
4、懇談会・研究会・講演会等の開催  
5、各種出版物の刊行  
6、海外布教の提携及び交流  
7、対外的な各種の運動  
8、その他  
●加盟団体  
日蓮宗 法華宗本門流  
顕本法華宗 法華宗本門流  
本門佛立宗 日蓮本宗  
法華宗真門流 本門法華宗  
国柱会 日本山妙法寺  
京都門下連合会